

**2019年度島根県外国人住民実態調査の集計結果（出雲市分）の概要について**

島根県内では、近年、出雲市を中心に、外国人住民数が大幅に増加しております。こうした状況を踏まえ、島根県は、県内市町村と共同して島根県外国人住民実態調査を実施されました。

この度、調査の集計結果(出雲市分:概要版)がまとまりましたので、下記のとおり報告いたします。

記

**1. 調査の目的**

県内の外国人住民の実態や、日常生活における不便や懸念、行政に求めるサービスのニーズなどを把握することにより、今後の施策や行政サービスの充実に反映させることを目的とする。

**2. 調査概要**

- (1) 実施主体:島根県、県内市町村、しまね国際センター
- (2) 調査対象:県内在住の20歳以上の外国人住民
- (3) 標本数:1,050人(県全体で2,000人)
- (4) 抽出方法:平成30年12月末の市町村毎の外国人住民数により按分し、無作為抽出
- (5) 調査方法:郵送法
- (6) 調査時期:令和元年5月

**3. アンケート調査の結果**

- (1) 回収数(率):出雲市247人(23.5%)
- (2) 回答者の構成

①男女

| 項目  | 男 女 |             |
|-----|-----|-------------|
|     | 構成  | 男性          |
| 女性  |     | 132人(53.5%) |
| 無回答 |     | 5人(2.0%)    |

②年齢

| 項目  | 年 齢    |            |
|-----|--------|------------|
| 構 成 | 20～29歳 | 58人(23.5%) |
|     | 30～39歳 | 82人(33.2%) |
|     | 40～49歳 | 59人(23.9%) |
|     | 50～59歳 | 40人(16.2%) |
|     | 60歳以上  | 7人(2.8%)   |
|     | 無回答    | 1人(0.4%)   |

③国籍・在留資格

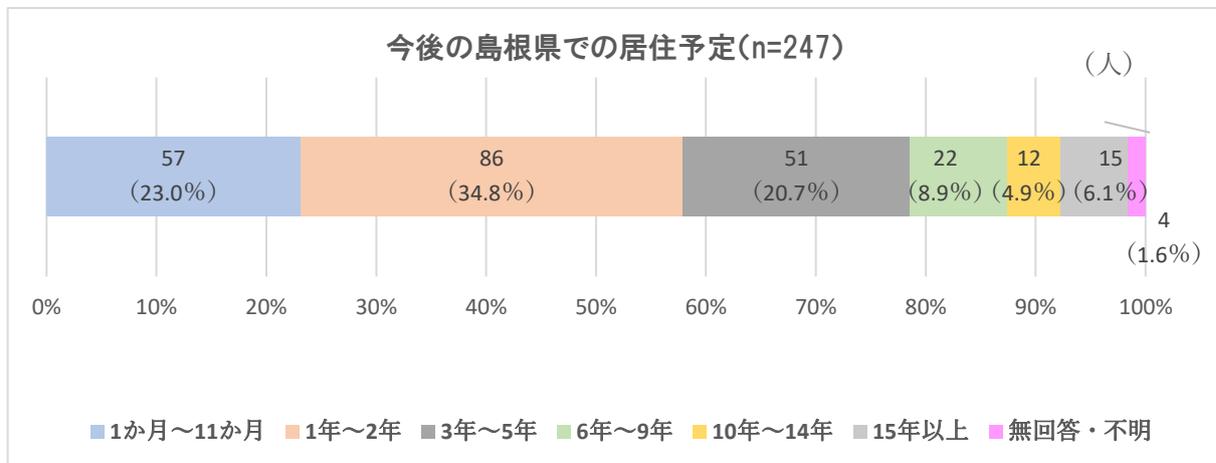
| 項目  | 国 籍     |             | 在留資格     |            |
|-----|---------|-------------|----------|------------|
| 構 成 | ブラジル    | 172人(69.7%) | 定 住 者    | 83人(33.6%) |
|     | 中 国     | 25人(10.1%)  | 日本人の配偶者等 | 57人(23.1%) |
|     | フィリピン   | 16人(6.5%)   | 永 住 者    | 40人(16.2%) |
|     | ベトナム    | 12人(4.9%)   | 技 能 実 習  | 27人(10.9%) |
|     | その他・無回答 | 22人(8.8%)   | その他・無回答  | 40人(16.2%) |

4. 主な調査結果

(1) 居住について

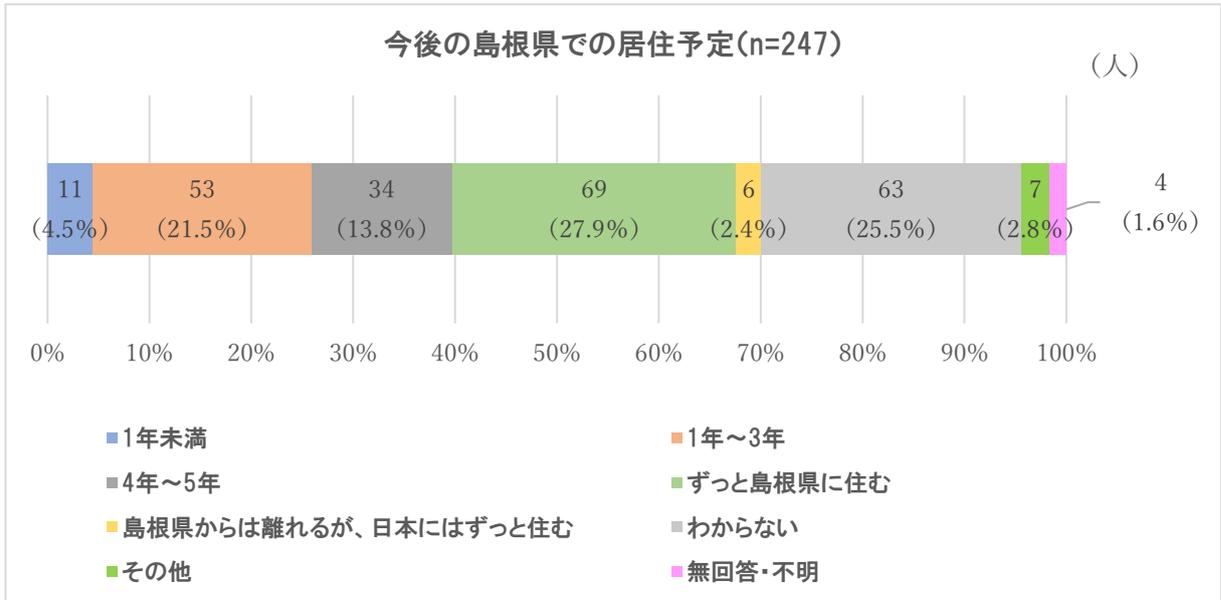
①どのくらい島根県に住んでいますか。(1つに○)

・『3年以上(計)』が100人(40.6%)となっている。  
 (「3年～5年」「6年～9年」「15年以上」の合計)



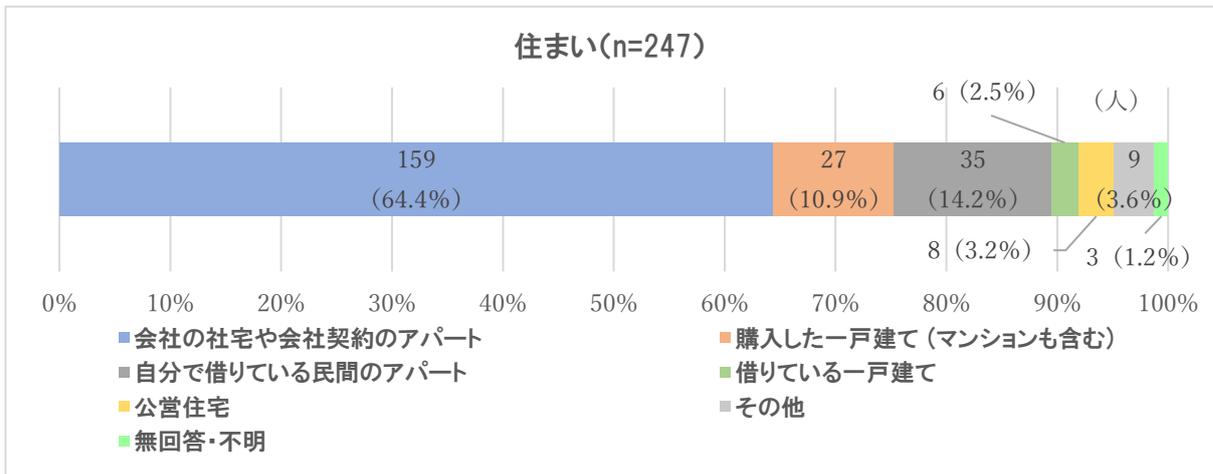
②あなたはこれから、どのくらい島根県に住む予定ですか。(1つに○)

・『ずっと島根県に住む』が69人(27.9%)、『4年～5年』が34人(13.8%)で、比較的長く住む予定が40%を超えている。  
 ・『わからない』が63人(25.5%)で、今後が決まっていない人が4分の1以上となっている。



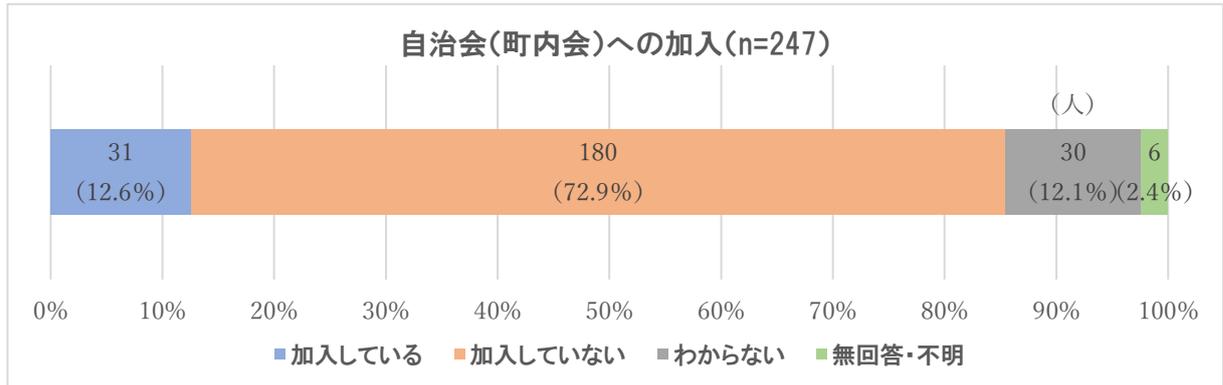
③あなたのお住まいは次のどれですか。(1つに○)

・『会社の社宅や会社契約のアパート』が159人(64.4%)  
 ・『購入した一戸建て(マンションも含む)』が27人(10.9%)で、自己所有が1割を超えている。  
 ・全体の8割近い人がアパートに住居している。



④あなたは自治会（町内会）に加入していますか。（1つに○）

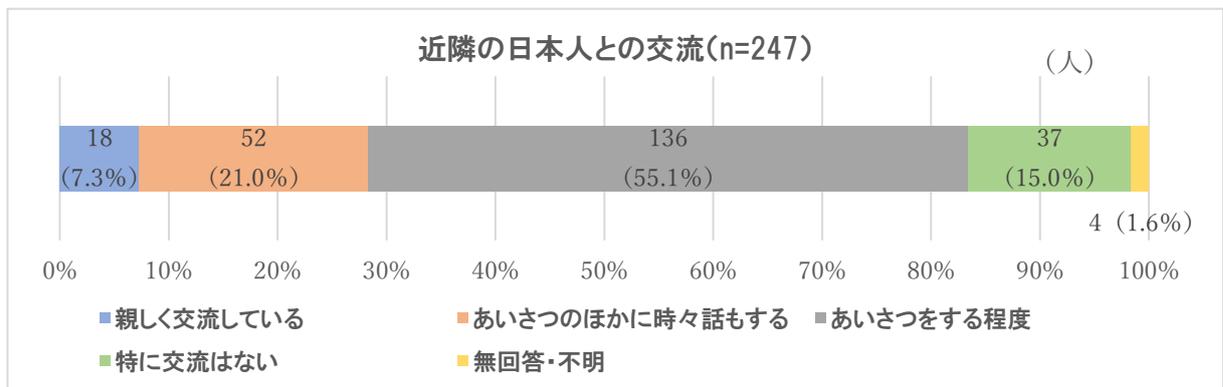
・『加入している』と回答した者が31人（12.6%）と『加入していない』と回答した人180人（72.9%）を大きく下回った。  
 ・自治会への加入について、『わからない』と答える者が30人（12.1%）おり、地域社会の制度や仕組みへの理解がまだ十分には浸透していないためと推察される。



(2) 地域での日本人との付き合いについて

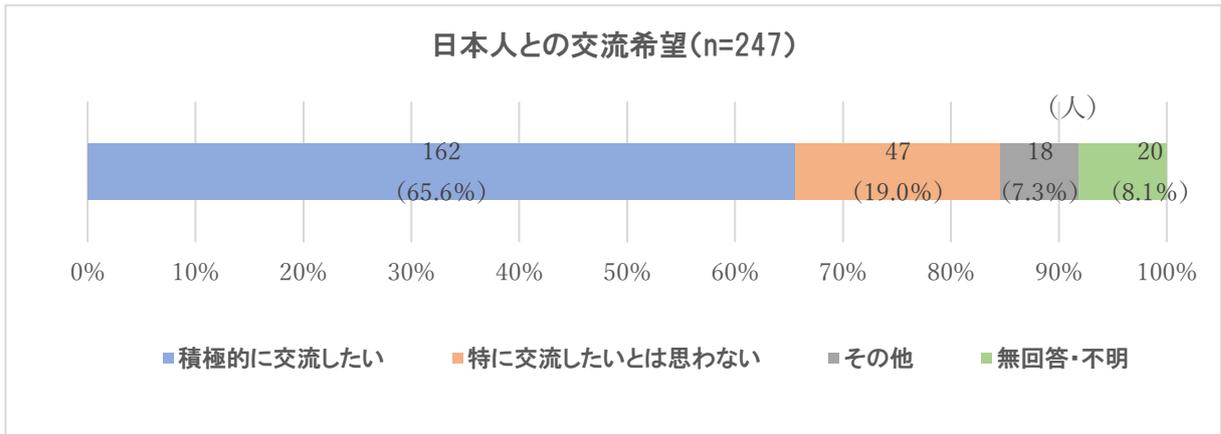
⑤あなたの家の近くに住んでいる日本人との交流はありますか。（1つに○）

・『あいさつをする程度』136人（55.1%）や『あいさつのほかに時々話もする』52人（21.0%）、『親しく交流している』18人（7.3%）と約8割を占め、『特に交流はない』37人（15.0%）を大きく上回る。



⑥あなたの家の近くに住んでいる日本人とどのような交流がしたいですか。  
(1つに○)

・『積極的に交流したい』が162人(65.6%)で、日本人と交流したい人が多くいることが分かる。  
・『特に交流したいとは思わない』が47人(19.0%)

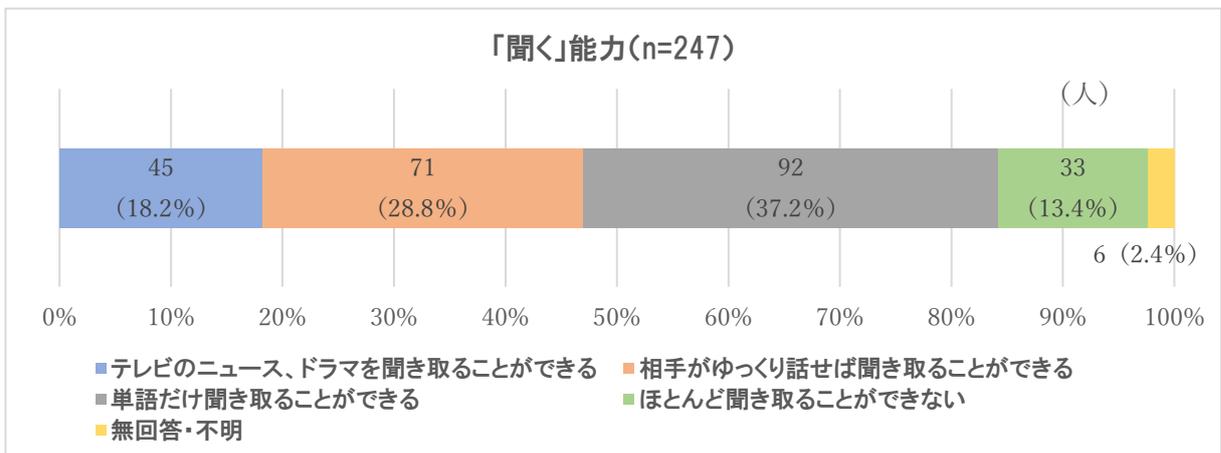


(3) 日本語について

⑦あなたは日本語がどのくらいできますか。

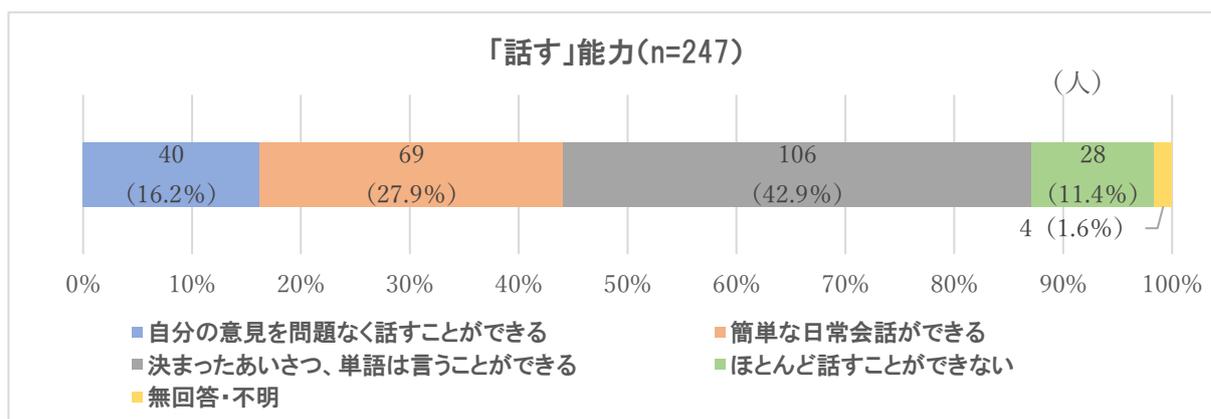
A. 日本語を聞く(1つに○)

・『テレビのニュース、ドラマを聞き取ることができる』『相手がゆっくり話せば聞き取ることができる』『単語だけ聞き取ることができる』と多少でも日本語が聞き取れると回答した人が約8割(82.2%)で、『ほとんど聞き取ることができない』と回答した人の13.4%を大きく超えた。



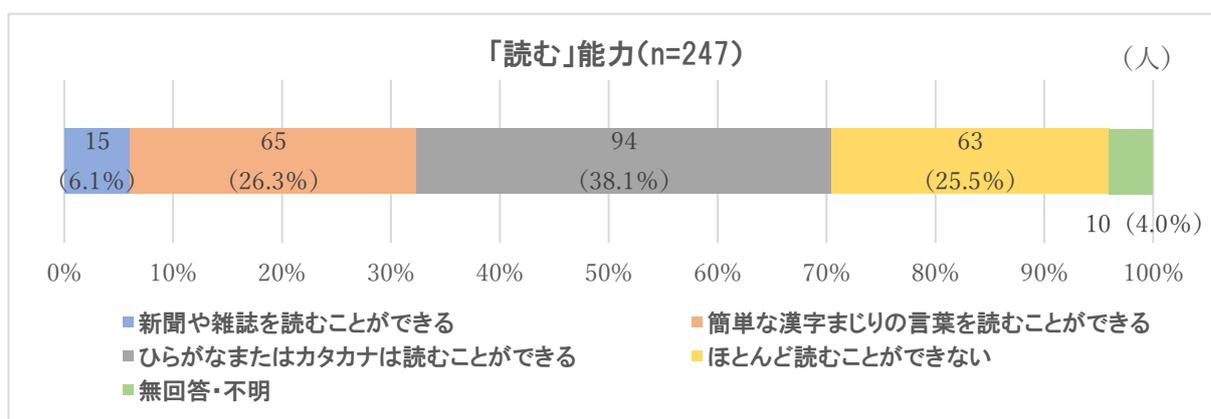
## B. 日本語を話す（1つに○）

・『自分の意見を問題なく話すことができる』『簡単な日常会話ができる』『決まったあいさつ、単語は言うことができる』と多少でも日本ができると回答した人が約9割（87.0%）で、『ほとんど話すことができない』と回答した人の11.4%を大きく超えた。



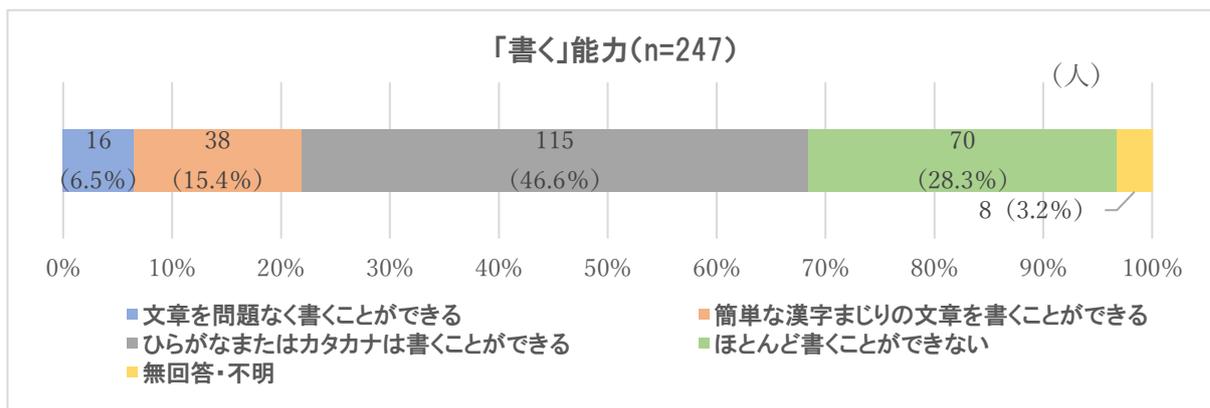
## C. 日本語を読む（1つに○）

・『新聞や雑誌を読むことができる』『簡単な漢字まじりの言葉を読むことができる』『ひらがなまたはカタカナは読むことができる』と簡単な日本語になっていれば読むことができると回答した人が約7割（70.5%）で、『ほとんど読むことができない』と回答した人の25.5%を大きく超えたが、4分の1は翻訳文書でないと理解ができないことが分かる。



#### D. 日本語を書く（1つに○）

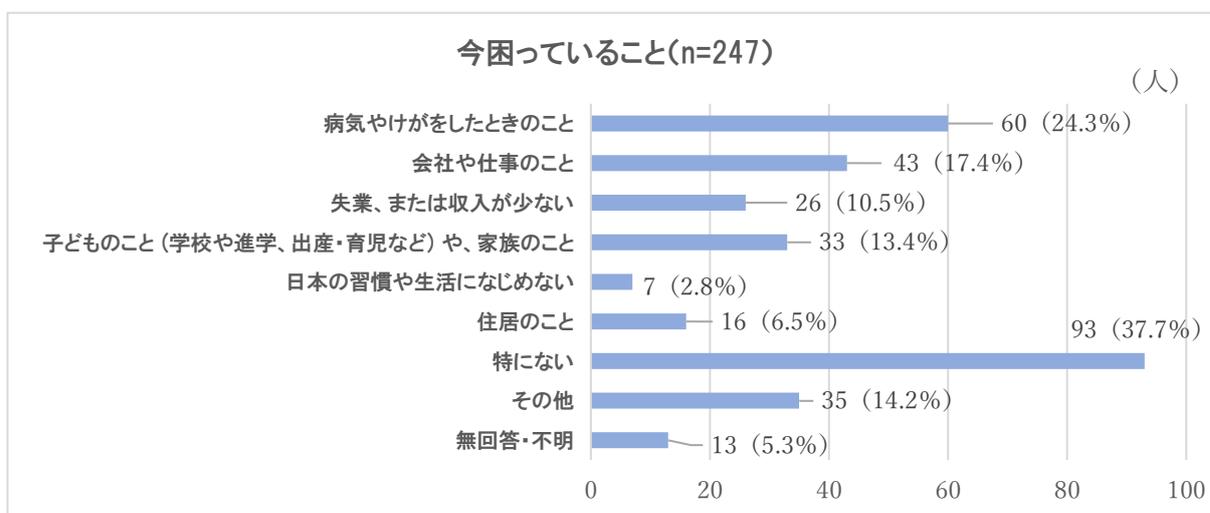
・『文章を問題なく書くことができる』『簡単な漢字まじりの文章を書くことができる』『ひらがなまたはカタカナは書くことができる』と簡単な日本語であれば書くことができると回答した人が約7割（68.5%）で、『ほとんど書くことができない』と回答した人の28.3%を大きく超えたが、4分の1は母語でないと書くことができないことが分かる。



#### (4) 生活について

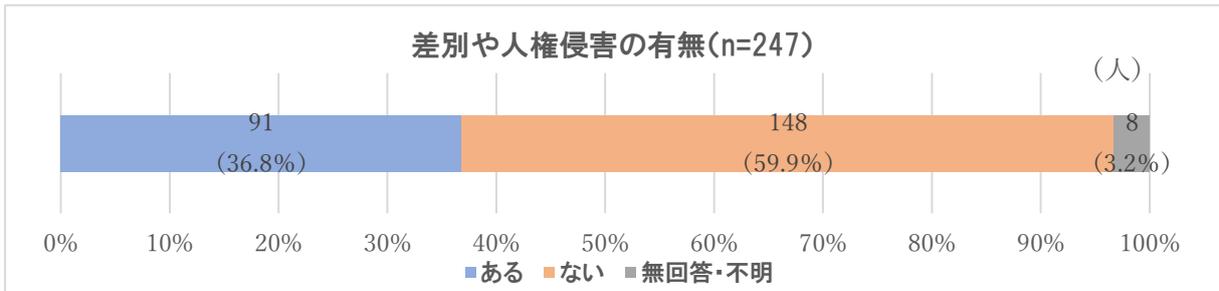
#### ⑧ あなたが今、困っていることはなんですか。(特にあてはまるもの2つに○)

・『特にない』が93人（37.7%）  
 ・『病気やけがをしたときのこと』が60人（24.3%）  
 「会社や仕事のこと」「子どものこと」が続く



⑨ 日常生活の中で、外国人であることを理由に、差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。(1つに○)

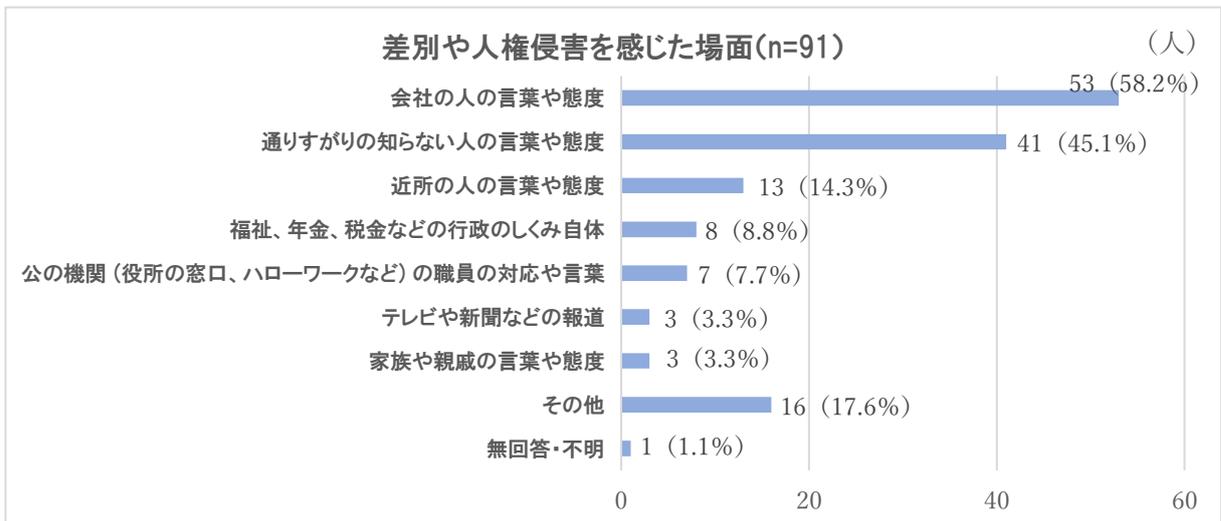
・『ある』が91人(36.8%)  
 ・『ない』が148人(59.9%)



A. ⑨で「ある」の方にお聞きします。

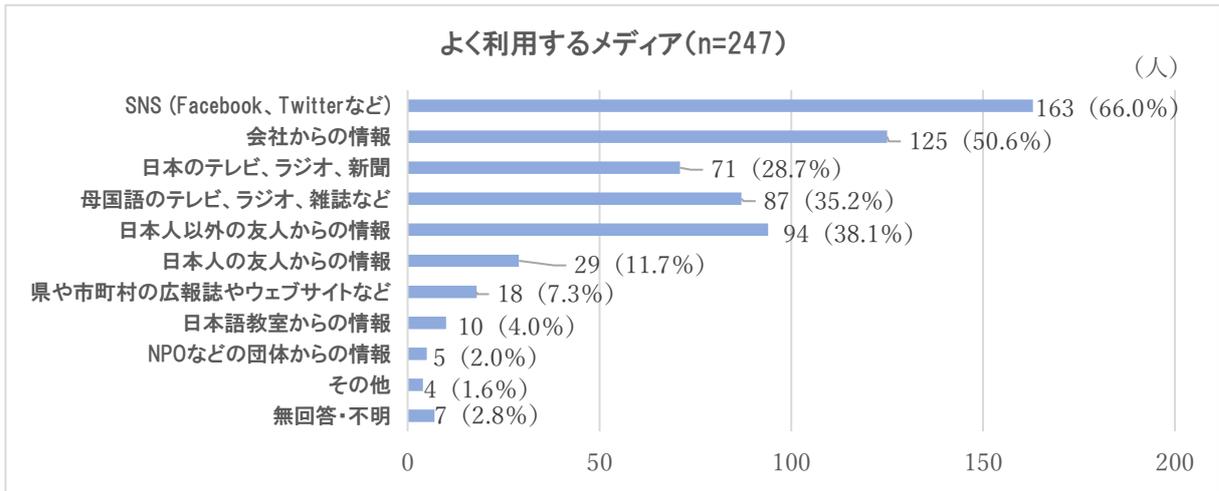
それはどのような場面で感じましたか。(あてはまるもの全てに○)

・『会社の人の言葉や態度』が53人(58.2%)  
 ・『通りすがりの知らない人の言葉や態度』が41人(45.1%)  
 「近所の人の言葉や態度」「福祉、年金、税金などの行政のしくみ自体」が続く



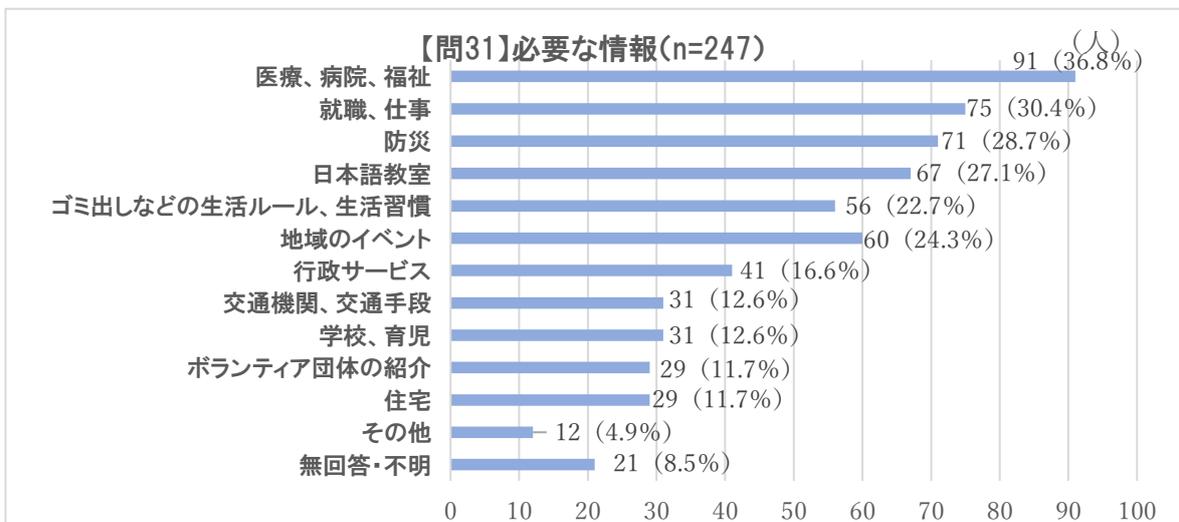
⑩ よく利用するメディアや情報は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・行政サービスを利用するための情報源は、『SNS (Facebook、Twitter など)』最も多く163人(66.0%)
- ・『会社からの情報』が125人(50.6%)
- ・「日本人以外の友人からの情報」「母国語のテレビ、ラジオ、新聞」が続いており、母語で情報を得ている人が多いことが分かる。



⑪ 今どのような情報が必要ですか。(特にあてはまるもの3つに○)

- ・『医療、病院、福祉』が91人(36.8%)
- ・『就職、仕事』が75人(30.4%)
- 「防災」「日本語教室」「地域のイベント」が続く

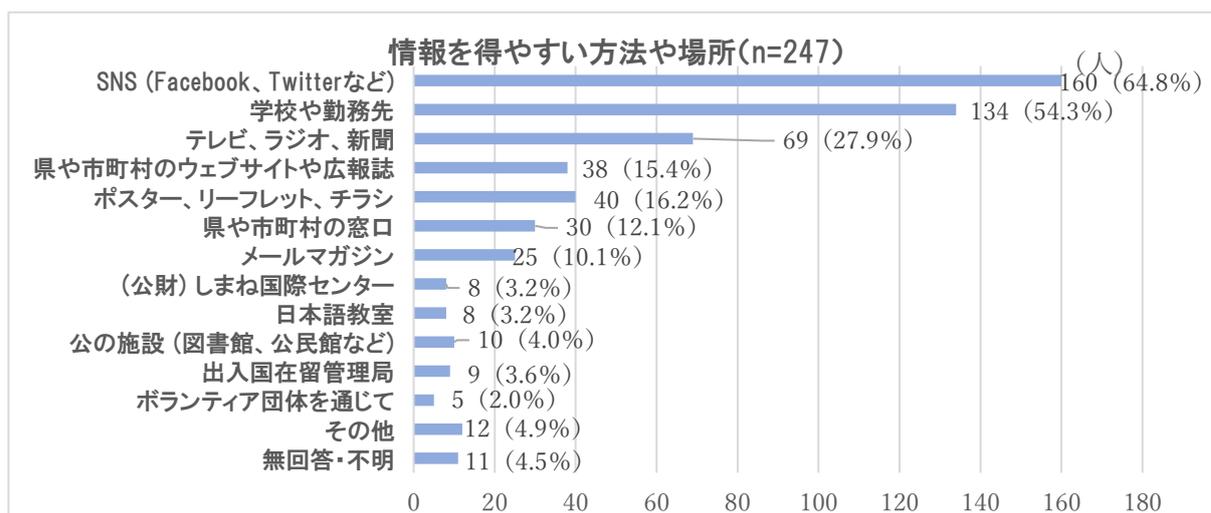


A. どのような方法（場所）だと情報を得やすいですか。（特にあてはまるもの3つに○）

・『SNS (Facebook、Twitter など)』最も多く160人（64.8%）

・『学校や勤務先』が134人（54.3%）

「テレビ、ラジオ、新聞」「県や市町村のウェブサイトや広報誌」が続く



⑫ これからどのような行政サービスを望みますか。（あてはまるもの3つに○）

・『日本文化、生活習慣、日本語などを学ぶ機会の充実』が115人（46.6%）

・『行政の窓口における通訳の充実』が109人（44.1%）

・『行政情報の多言語化の充実』が100人（40.5%）

「日本人との交流窓口の充実」「外国人の子どもに対する教育支援の充実」が続く

